

平成29年度

事業報告書及び附属明細書

社会福祉法人中東福社会

目 次

(事業報告書)

法人本部の事業概要	1
重点項目・地域交流報告	3

(附属明細書)

苦情・事故件数	17
事業所別年間利用者数及び稼働率	18
職員数の推移	19
職員有資格者数	20
職員研修参加数	21

事業報告書

法人本部の事業報告（事業概要）

年月日	事業名	概要
4月3日	辞令交付式	於.第二いずみの里
4月14日	さくらの里介護用昇降機入札	於.帛の郷憩いのホール
4月27日	満日の里在宅施設整備工事入札	於.帛の郷憩いのホール
5月8、9日	山田公認会計士による監査	於.本部 山田公認会計士より監査報告書受理
5月17～19日	法人監事決算監査	於.法人内施設
5月24日	理事協議会	於.帛の郷憩いのホール 出席者 理事10名 監事2名
5月31日	第4回理事会	於.帛の郷憩いのホール 出席者 理事 10名 監事 2名 議題 理事、監事、会計監査人候補者の 評議員会への推薦について 定款の一部改正 事業報告 決算認定等
6月16日	第2回評議員会	於.帛の郷憩いのホール 出席者 評議員9名 理事 10名 監事 2名 議題 理事、監事、会計監査人の選任 定款の一部改正 事業報告 決算認定等
6月16日	第5回理事会	於.帛の郷憩いのホール 出席者 理事8名 監事2名 議題 理事長の選任、うずらはし 空調熱源交換工事に係る入札について
6月30日	うずらはし空調熱源交換工事入札	於.帛の郷憩いのホール
7月7日	正規職員採用・内部職員 特別採用一次試験	於.五泉市福祉会館 受験者25名 (内訳 正規19名、特別採用6名)
7月10日	新役員等法人事業説明・施設見学	於.帛の郷憩いのホール 出席者 理事4名 監事1名 評議員4名 施設見学 いずみの里、自立就労センターいずみ 菅名の里、まおろしの郷
7月20日	正規職員採用二次試験	於.本部 受験者18名 合格者18名
7月27日	内部職員特別採用二次試験	於.本部 受験者5名 合格者5名
8月22日	正規職員中途採用試験	於.本部 受験者4名 合格者4名
10月4日	第6回理事会	於.帛の郷憩いのホール 出席者 理事8名 監事2名 議題 理事長の職務執行状況報告 入札結果報告、補正予算 評議員選任・解任委員の補充選任 運営規程の一部改正 職員給与規則、経理規程の一部改正 (仮称)はしだ寮の入札関連 第3回評議員会開催について

年月日	事業名	概要
10月12日	第3回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員9名 理事8名 監事2名 議題 補正予算 (仮称) はしだ寮の入札関連
10月24日	共同生活援助 (仮称) はしだ寮 新築工事入札	於. 帛の郷憩いのホール
12月13日	第7回理事会	於. 五泉市福祉会館3階 出席者 理事7名 監事2名 議題 入札結果報告 運営規程の一部改正、 就業規則、職員給与規則の一部改正 補正予算、第4回評議員会の 開催について
12月21日	第4回評議員会	於. 五泉市福祉会館3階 出席者 評議員9名 理事2名 監事2名 議題 入札結果報告 補正予算
平成30年1月4日	理事長年頭挨拶	於. 法人内各施設
1月10日	第1回人材確保プロジェクト	於. 帛の郷憩いのホール
1月23日	第2回人材確保プロジェクト	於. 本部
2月20日	正規職員採用試験 (追加募集)	於. 本部 受験者1名 合格者1名
2月21日	第3回人材確保プロジェクト	於. 帛の郷憩いのホール
2月23日	平成30年第1回理事会	於. 五泉市福祉会館3階 出席者 理事8名 監事2名 議題 定款の一部改正、施設等の任免を含む 人事異動
3月15日	第2回理事会	於. 五泉市福祉会館3階 出席者 理事 8名 監事 2名 議題 理事長の職務執行状況報告 苦情解決第三者委員の選任 車両管理規程の一部改正 運営規程の一部改正 就業規則、経理規程細則一部の改正 補正予算、新年度予算、事業方針 第1回評議員会の開催について
3月23日	第1回評議員会	於. 五泉市福祉会館3階 出席者 評議員 8名 理事2名 監事 2名 議題 定款の一部改正 補正予算、新年度予算、事業方針
3月30日	退職者辞令交付式	於. 帛の郷憩いのホール

法人施設の事業報告（重点項目・地域交流）

障 害 福 祉 事 業 部		課 題 等	
計 画		報 告	
施設名 いずみの里	○重点項目		
	(1) 生活介護・日中一時支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個別の意向や障害特性、強度行動障害等の特性を踏まえた個別支援計画に基づき、多職種が連携した支援を提供する。また、介護事故防止、感染症対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害特性に配慮し、見通しが持てるように場所や内容を明確にすることにより安心して活動ができるよう構造化（目で見てわかるように手順などを明確にすること）に取り組んだ。
	(2) 施設入所支援・短期入所事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度高齢化や障害特性支援におけるハードとソフト面の整備に努め、専門的で高品質な施設入所支援及び在宅利用者へ短期入所サービスを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事故等における周知の徹底 ・個別支援計画に沿った支援の提供
	(3) 居宅介護等事業（フレンド）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、在宅利用者が地域で充実した生活が送れるよう居宅介護に基づいた生活支援及び介護サービスを提供する。また、福祉有償運送事業における安全運転教育を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害に関する知識・技術の習得
(4) 共同生活援助事業（陽だまり）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの意思を尊重し、自分らしい生活を送るための支援に努め、積極的な社会参加により地域住民との交流を図る。また、老朽化した住居の住み替えを検討し、新たに安全快適に生活できる重度高齢化に対応したグループホームを計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員と連携を図り、利用者ニーズに沿ったサービス調整・提供を行った。しかし、増加するすべての利用希望に応えることが出来ず、お断りする件数も増加した。 ・新規利用希望者への対応 ・事故対応マニュアルの見直し 	
○地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を基に、いずみの里・陽だまりとともに地域行事へ積極的に参加することで、地域住民と相互理解を深め、さらに自分らしく安心して暮らしていただけるよう体制を整備し支援する。同様に納涼祭、地域合同防災訓練にも地域住民の積極的な参加を呼びかけ協働作業を通じ日頃の協力体制を更に強いものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安心安全な暮らしを優先するため、新たな住居を建築し、老朽化した住居の住み替えを行った。また、利用者の個々のニーズに沿った住居の再編成を行った。 ・利用者の重度化等に伴い地域へ出向く機会は減少したが、個別の興味や利用者ニーズに応じた行事に参加した。 ・地域合同防災訓練では当番施設として地域住民、関係機関等と協力連携した訓練を行った。 	

施設名	計画	報告	課題等
自立就労センター ターイズみ	<p>○重点項目</p> <p>(1) 自立訓練(生活訓練)事業</p> <p>・日常生活の向上に向けた支援や社会適応訓練などを行う。知的障害の他に自閉症、発達障害など利用者の障害種別が多岐にわたり、個別のニーズと課題が多様の中、個人々の生活能力の維持・向上のためのプログラムの拡充を図り、「自立」に向けた支援に努める。また、「住み慣れた地域の中で生活する」ことを意識して近隣地域での社会適応訓練に取り組む。</p>	<p>・個別支援計画に沿った支援を通して生活能力の維持向上を図った。(作業、当番活動の実施。マナー講座の開催。身体を動かそうタイムの導入。地域での昼食購入。公共交通機関の見学や利用訓練の実施)</p> <p>・自立訓練満了後を見据えた進路に繋がる実習を実施した。</p>	<p>・障害特性に配慮した支援の継続</p> <p>・利用終了後のスムーズな移行</p>
	<p>(2) 就労移行支援事業</p> <p>・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練や、求職活動に関する支援を行う。また、企業見学を通して就労意識を高め、職場開拓を積極的に行うことで就労につなげていく。施設外就労の中で技術のスキルアップを図るとともに、「就労」を考える手掛かりのひとつとして工房・喫茶店業務を提供していく。</p>	<p>・就労に必要な知識の向上に向けた訓練を実施した。</p> <p>・住み慣れた地域を考慮した企業見学を実施した。</p> <p>・就職後の職場定着に向けて企業訪問や電話相談、関係機関との連携や情報共有を図り支援した。</p> <p>・4月に法人内施設の清掃員として1名、12月と1月にそれぞれ1名一般企業の清掃、接客業務に就職を決めることができた。</p>	<p>・利用者ニーズ、状況にあった企業開拓</p> <p>・関係機関との積極的な関わりと連携強化</p>
	<p>(3) 就労継続支援A型事業</p> <p>・法人との雇用契約に基づき、就労に必要な知識や能力の向上に向けた支援を行う。施設外就労や工房・喫茶店業務を提供する中で業務のスキルアップを継続すること、「働きを受けられるなど精神面の支援を継続すること」、「働きがい」が実感でき就労が続けられるよう支援する。併せて、個人々の意思や能力に応じた職場開拓や求職活動を行う。</p>	<p>・施設外就労の中で仕事のやり方方を助言すると共に悩みなどの相談を受け、精神面からの支援も併せて行った。</p> <p>・利用者の障害特性に応じた就労支援を実施した。精神障害も方には働く時間やシフト調整を行い、また、知的障害の方には仕事や生活の中で生ずる困りごとを含めて相談対応を行った。</p>	<p>・利用の長期化や加齢に伴う就労意欲の低下改善</p> <p>・利用者状況と必要な支援の再確認</p>
	<p>(4) 就労継続支援B型事業</p> <p>・生産活動などに係る知識及び能力の向上や維持に必要な支援を行う。多種多様な生産活動を提供することで利用者の潜在能力を引き出し、「働く喜び」を感じられるよう、作業種目や委託業務先の開拓を進める。清掃を中心とする施設外就労や喫茶店業務などにも、より多くの利用者が関われるようにする。</p>	<p>・施設外就労においては少人数グループで実施し、個人に配慮した丁寧な支援に努めた。</p> <p>・施設内での作業については、個人の意向を尊重し、作業科目を自己選択してもらった。自主的に作業に取り組んでもらうことで就労意欲の向上に繋がった。</p> <p>・就労意識向上に繋げるため、企業見学を実施した。</p> <p>・一般就労に向け、企業実習を行った。</p>	<p>・収益効率の高い生産活動の確保</p> <p>・利用者の能力を活かせる作業種目の開拓</p>

施設名	計画	報告	課題等
自立就労センター ターイズみ	<p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年恒例となつている地域の保育園児を対象としたさつま芋掘りの受け入れや、地域合同の納涼大会を通して地域交流を図っていく。地域の方からのボランティア申込みは積極的に受け入れ、相互理解を深める機会にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつま芋掘りは11保育園339名を受け入れた。 ・納涼大会は、運営から開催まで地域の方と連携して行った。また、今年度より地元町内会へ加入し、地域住民との交流する機会を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における地域住民との連携
第二いずみの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的生活能力の向上と健康の保持、体力の増進を図るため、必要な支援を行うと同時に、高齢利用者への対策、身体的機能低下が危惧される利用者に対するリハビリ支援に努める。また、昨年に引き続き、障害特性の強い方の支援を積極的に取り組んで行く。今年度は生活の中での質の向上を目指し、視覚や聴覚に訴えるもの、園内で体験や経験出来ることを増やし、利用者の喜びや生きがいにつなげていけるようすすめて行く。感染症予防対策と衛生管理体制の強化に努める。 <p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所支援においては、個別支援計画に沿って利用者個々のニーズに応じた個別性のある質の高い支援を目指す。また、利用者にとって生活の場である施設の暮らしを安心して過ごすことのできるよう、一人一人に寄り添いながら「居場所」としての施設の環境づくりを行う。 <p>(3) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用者、家族からのニーズ等を受け、五泉市からの委託相談支援事業、計画相談支援事業、県委託の地域相談支援事業等を活かしながら支援を行う。それにあたって、行政及び五泉市基幹相談支援センターと連携強化を図っていく。また、高齢者支援に必要な資格取得や研修を行い、居宅介護支援事業と障害者相談支援事業の事業所の一本化に向けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢福祉事業部より機能訓練指導員の協力を得て、より専門的な支援を提供した。 ・各種園内研修を開催し、支援技術のスキルアップに努めた。 ・園内でも様々な経験が出来るよう、専門の講師を招き、体験教室等を開催した。 ・感染症については、嘱託医の指導を受けながら予防に努め蔓延を防ぐことができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿えるよう、画一的な取り組みから個別の取り組みへと様々見直しを図った。 ・まずは生活の土台となる『安全・安心』に着目し、作業室の構造化、Dルームや食堂の動線の見直し、居室の整理整頓等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・困難ケース対応が多く、通常の業務に支障をきたすこともあった。 ・下半期からは、月2回、伝達会議を行い、ケースの進捗状況の確認や互いに助言を与えあうことで相談支援の強化に努めた。 ・居宅介護支援事業所と合同の研修会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より専門的な支援が継続して提供できる ・感染症予防・対応が定着する <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携強化 ・マネジメント業務の強化

施設名	計 画		報 告		課題等
第二いずみの里	<p>(4) 新潟圏域地域生活支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 県からの委託を受け、新潟圏域内（五泉市、阿賀野市、阿賀町の相談支援体制整備、療育支援体制整備等の拡充を圏域内各市町村、相談事業所等と共に協議する。圏域内地域における対応困難事例等の個々のケースに関する、基幹相談支援センターや行政と協働した地域の相談支援事業所のバックアップを通じて広域的な支援を行う。 		<p>新潟圏域内において、相談員の依頼によりケースへの同行、助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重症心身障害、医療的ケアを必要とする障害児・者の実態調査（ニーズ調査）と、サービスクラス拡充に向けた啓発のための圏域別研修を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> バックアップ体制の強化
	<p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との交流行事に積極的に参加すると同時に、納涼祭等施設の行事にも参加してもらったことにより相互理解を深める。また、いずみ・第二いずみの里地域合同防災訓練を行うことにより私設消防団より合同訓練に参加してもらったことにより緊急時の協力体制を確認する。 		<p>地域との交流事業に積極的に参加した。また、納涼祭等を通じ、川東地区と相互理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域合同防災訓練に参加し、意見交換をすることで協力体制を確認することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害避難指示、勧告時の対応
満日の里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員が作成したサービスクラス等利用計画を基本に、障害により支援や介護を必要とする利用者個別の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づいて多職種が連携して統一した支援を提供する。その為に強度行動障害に関する特性を理解した支援に努める。また、身体機能低下防止の為、リハビリ支援の充実と感染症予防にも努める。 		<p>多職種で連携しながら必要に応じてケース会議を開催し、統一した支援の提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害については利用者の特性を理解した支援に努めた。 法人内事業所の機能訓練指導員から年に2回評価してもらったことで、利用者の身体機能低下防止に努めた。 感染症については、勉強会の開催や各所消毒の徹底、各種予防に努め蔓延を防いだ。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者の重度高齢化に伴う日中活動プログラム改善（よりリハビリ的支援の充実)
	<p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備にもない施設入所者の個室化を図り、障がい特性や年齢に応じた住み分け及び個別支援の充実を図る。また、短期入所は在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため関係機関と連携を図り、サービスクラス等利用計画を基本にした安心安全な施設入所支援及び緊急対応にも可能な限り受け入れられるよう定員を増やす。 		<p>ペットや家具の配置を工夫することで個室に近い環境を提供することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短期入所については、在宅障害者の生活継続（緊急受け入れ含む）と家族負担軽減のために定員を増やし受け入れを行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 短期入所棟のための体制整備

施設名	計 画		報 告	課題等
満日の里	<p>(3) 相談支援事業 (まんいち)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族と相談しながら将来を見据えたサービス等利用計画を作成し、必要な社会資源や関係機関等とのネットワークを活用した支援を行う。また、児童の計画相談をよりよくすすめるため、知識の習得や事業所・保育園・学校等の関係機関とのネットワーク構築に努める。相談の24時間受入れ体制の継続と困難事例に対して障がい者基幹相談支援センター秋葉と連携強化を図る。 		<p>相談契約人数293人(者：242人、児：51人)の相談ケースに対し、サービス等利用計画の作成とモニタリングを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回伝達会議を開催し、ケースの進捗状況の確認、制度や社会資源に関する情報の共有を図った。また、事業所内で事例検討会を開催し、相談支援の質の向上に努めた。 ・児童の計画相談の質の向上のため、保育・教育・医療・その他事業所との連携を図った。 ・24時間受入れ体制を整え、緊急の事案に対応することができた。 ・困難事例に対し、基幹相談支援センターや行政、医療との連携強化を図り対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現体制上、新規のケース受け入れが困難
	<p>(4) 居宅介護等事業 (まんいち)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ方が地域の中で暮らし続けるために、居宅介護計画に基づいて必要な生活支援や介護サービスの提供を行う。その為に計画的に強度行動障害支援等の各種研修へ参加し、専門的な知識及び技術の習得を図る。また、福祉有償運送事業における職員の安全運転教育徹底を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護計画に基づき適切なサービス提供に努めたが、利用者や家族のニーズに応えることが難しいことも多かった。 ・強度行動障害支援については、研修を通して知識・技術の習得を図った。 ・福祉有償運送事業では、講師として参加するなど職員へ安全運転の意識徹底を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の居宅介護等事業の在り方
	<p>(5) 共同生活援助事業 (なでしこ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなみハイツの老朽化による住替えと入所やグループホーム利用者の重度・高齢化に対応するとともに、地域生活を希望する利用者のニーズに応え安全快適な生活が出来るように満日の里の敷地内にグループホームを新設する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・満日の里の敷地内に重度・高齢化対応のグループホームを新設し、みなみハイツや法人内グループホーム、地域生活を希望する施設入所利用者の住み替えを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡体制の確保 ・引き続き、老朽化した住居の住み替え
	<p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等による交流を積極的に推進し地域から愛され、信頼される施設を目指す。同時に地域との合同防災訓練を実施し災害時の応援連携体制を構築する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・癒しの福祉ゾーン秋祭りを通じて近隣施設や地域住民との交流を図った。また、地域合同防災訓練にも参加し、近隣施設や地域住民と協力体制の確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害時における緊急避難先の選定

施設名	計 画	報 告	課題等
さなせ家	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <p>・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、生産活動の一層の充実と達成感の持てる活動内容の工夫に努める。また、社会参加を目的として外出の機会も取り入れていく。</p>	<p>・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、生産活動の一層の充実と達成感の持てる活動内容の工夫に努めた。また、社会参加を目的として外出の機会も取り入れ、さらにはアリーナでの運動を増やし、親子外出も実施した。</p>	<p>・フロア面積が狭い</p>
	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <p>・利用者が誇りを持って働き、生きがいを持って地域生活が送れるよう支援に努める。施設外就労先を増やし工賃向上計画に則り工賃増に取り組む。また、就職に向けた体験や関係機関とのネットワーク構築に努める。</p>	<p>・利用者が誇りを持って働き、生きがいを持って地域生活が送れるよう支援に努めた。施設外就労先の仕事が増え、減ったため受託作業を増やしたものの工賃は昨年を少し下回ることとなった。</p>	<p>・作業能力の格差が広がってきた</p>
	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <p>・五泉市の委託によるII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努めるとともに「サンサンクラブ」等の活動を計画し、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図る。</p>	<p>・五泉市の委託によるII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動などの提供に努めるとともに「サンサンクラブ」等の活動を計画し、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図った。</p>	
	<p>○地域交流</p> <p>・五泉南公園の清掃活動をこれからも積極的に行う。</p>	<p>・五泉南公園の清掃活動や五泉駅周辺の環境美化活動を行った。</p>	
さくらの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <p>・日々の介護や訓練の継続・充実にも努める。また、社会参加を目的とし外出の機会も取り入れていく。</p>	<p>・日々の介護や訓練の継続・充実にも努めた。また、社会参加を目的とし外出の機会を多く取り入れた。またさらにはアリーナを活用し外部での活動も行った。</p>	<p>・利用者が増え、フロアが手狭になった</p>
	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <p>・就労に向けての技術や能力を見極め、個別支援計画を作成し、個々の状況に応じた訓練等を行う。また、工賃増を目標として取り組む。</p>	<p>・就労に向けての技術や能力を見極め、個別支援計画を作成し、個々の状況に応じた訓練等を行った。また、工賃増を目標として自主製品の制作と販売に取り組みんだ結果、工賃増に結びついた。</p>	
	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <p>・五泉市の委託によるIII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努め、各活動を協力して行うことにより社会参加及び社会復帰、自立の促進を図る。</p>	<p>・五泉市の委託によるIII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動などの提供に努めるとともに「サンサンクラブ」等の活動に参加し、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図った。</p>	

施設名	計画	報告	課題等
さくらの里	<p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村松ライオンズクラブや愛宕小学校との交流を引き続き実施する。 	<p>・愛宕小学校との交流を行った。また地域住民の除雪作業の手伝いも行った。</p>	
あさひの家	<p>○重点項目</p> <p>(1) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市からの委託相談支援、計画相談支援、地域相談支援と重層的な相談支援が可能な事業所の特性を活かし様々な相談に対応するとともに、OJT（職場内教育）による職員の資質向上をめざす。そして、個別の相談から地域に共通する課題をみつければ、五泉市障害者総合支援協議会を通して「地域づくり」に反映させていく。また、高齢の障害者への支援に関する制度改正を見据え、相談支援専門員による介護支援専門員資格の取得推進を図る。 <p>(2) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪いのが楽しく安全に、そしてより快適に過ごせる場となるよう環境作りに努める。また、利用者同士やボランティアとの交流機会として各種行事や創作活動を行うとともに、利用者の主体的な活動を支援する。その他、障害者のスポーツ・芸術文化活動支援等により利用者の社会参加促進を図る。更には、精神障害者と周囲の人々が協力し合い共に生きるまちづくりに向けた啓発事業として、関係機関と連携した各種講座やサロン等を開催する。 	<p>・五泉市からの委託相談支援は延べ2,276件（関係機関との連絡調整含む）であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援は3月末時点で98名と契約中。 ・地域相談支援（地域定着支援）は2名／年に、それぞれ相談支援を提供した。 ・相談支援専門員1名が介護支援専門員資格を取得した。 ・あさひの家計画相談マニュアルを作成し、計画相談業務の標準化を図った。 <p>・悪いの場延べ利用者数は4,085人、実人数101人。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種活動延べ利用者数は1,175人、実人数81人。 ・精神保健福祉ボランティアの養成講座及び育成研修会は計画通り実施できた。 ・当事者の家族が悩み等をかぜ会の協力ののもと毎月1回家族精神障害者家族会を開催したが、参加は低調であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員資格取得の推進継続 ・報酬改定への対応（書類管理、請求事務）
	<p>(3) 新潟圏域障害者生活支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県からの委託を受け、五泉市・阿賀野市・阿賀町における対応困難ケースへの助言及び地域のネットワーク構築に向けた広域的な支援を行う。また、地域の相談支援専門員との協働支援や勉強会を通して相談員の資質向上をめざしながら、当事者・家族の方を活かした体制作りも継続していく。 <p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉ボランティアグループ虹の会やその他ボランティアの積極的な受入れを行う。また、近接する虹工房と協働した地域交流活動を展開し、精神障害に関する普及・啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五泉市・阿賀野市・阿賀町の支援者を対象にサービス等利用計画と個別支援計画の質向上を目的とした研修会を上智大学大塚晃先生を迎え開催した。（67人参加） ・ピアサポーター講座（全3回）を開催し延べ105人が受講。ヒアリング・Warms of Pieresの活動支援も継続した。 ・発達障害者の子を持つ親を対象にした家族心理教室を五泉市内を会場とし開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター講座の継続開催 ・精神障害者の親対象の家族心理教室の五泉市開催（地活事業との連携）
		<ul style="list-style-type: none"> ・虹の会やフリースペース村松ボランティアから昼食会、編み物サロン、麻雀クラブ、フリースペース村松に協力いただいた。 ・9月に虹工房と共に「なないろふえすた」を開催。虹の会協力ののもと2施設あわせ約150名の来場があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客の工夫を凝らし「なないろふえすた」を継続開催する

施設名	計 画		報 告	課題等
虹工房	<p>○重点項目</p> <p>(1) 就労移行支援事業</p> <p>・就労に必要な技術や能力を見極め、就労移行支援計画書に沿って個々の状況に応じた支援を行い、ハローワーク等関係機関との連携のもと、利用者の特性や希望に合った就労へつなげる。また、市内企業等へ働きかけ実習先の開拓や確保に努める。</p>		<p>・4月より6名から3名へ定員減。4月と6月に計2名が就職したが、その後定員割れ期間が続き、満床後も利用者の入院等があり昨年度より稼働率が下がった。</p> <p>・就労支援としてSST（社会生活技能訓練）を含む「就労ミートイング」を開始した。</p> <p>・県のアウトソーシング推進事業の一環で県立五泉高校女子職員トイレ清掃業務受託を協議中。</p>	<p>・特別支援学校や相談支援事業所等に働き取り向ける</p> <p>・個別支援の更なる充実</p>
	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <p>・地域ニーズに合わせ定員を14人から17人に増員する。そして、個々の能力を見極め、就労継続支援B型支援計画書に沿った施設内外の作業の提供及び就労に向けた訓練を行う。また、工賃増を目標に受託作業及び自主製品作成・販売の強化に取り組む。</p>		<p>・4月より14名から17名へ定員増。延べ利用者数は平成28年度3,551人から3,734人へ増加した。</p> <p>・新規受託作業のASPバック作業（緩衝材充填）や新製品作成に取組んだ。（平均工賃：12,454円）</p> <p>・毎日の利用者リーダー決めや部屋担当職員の掲示等利用者にとってわかりやすい環境作りに努めた。</p>	<p>・1万円台の平均工賃を維持しつつ、定員枠を最大限に活用し地域ニーズに応える</p> <p>・作業以外の活動へ参加しやすくする工夫</p>
	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <p>・施設新築により上記2事業を分かれた専用スペースにて、生産活動・創作的活動・ボランティアとの交流活動等の日中活動を提供する。また、関係機関と連携を取りながら、若年者から高齢者まで幅広い利用者の個々のニーズに応じた支援を実施していく。</p>		<p>・生産活動の他、菜園での園芸活動を行ったり、「茶話会」「余暇活動」を毎月定例で企画、実施した。</p> <p>・虹の会ボランティアが毎月2回定例で行う「味噌汁作り」に利用者が毎回2名ずつ参加し、ボランティアと一緒に調理、配膳を楽しんだ。</p> <p>・個別支援充実のため保健師、保健所相談員、基幹相談支援センター等も参加する事例検討を定期的の実施した。</p>	<p>事例検討の継続</p>
	<p>○地域交流</p> <p>・精神保健福祉ボランティアグループ虹の会による協力が継続できるよう、気軽にボランティアにくることが出来る環境作り、雰囲気作りに努める。また、近接するあさひの家と協働した地域交流活動を展開し、精神障害に関する普及・啓発を図る。更に、施設内に設けられた「地域交流スペース」について、家族会による利用等その有効活用を図る。</p>		<p>・虹の会ボランティアに地域活動支援センターの「茶話会」へ参加してもらいボランティア、利用者共に好評であった。</p> <p>・調理室が出来たことを機に虹の会定例活動である味噌汁作りに地域活動支援センター利用者が加わるようになった。</p> <p>・20年近く続いた虹工房バザーを改め、9月にあさひの家と共に「なないろふえすた」を開催。虹の会の協力のもと2施設あわせ約150名の来場があった。</p>	<p>・ボランティア受入れ希望日の年間計画提示</p> <p>・集客のための工夫を凝らし「なないろふえすた」を継続開催する</p>

施設名 たんぼほ	計画	報告	課題等
○重点項目			
(1) 生活介護事業	<p>・食事や入浴といった日常生活能力の維持と健康の保持に必要な支援を行う。また施設内及び施設外行事を通して共同生活や社会参加に必要なさまざまな習慣化に努める。</p>	<p>・日常生活能力と身体機能の維持等に向け、屋内外で毎日運動を行った。またリハビリを兼ねた創作活動で貼絵に挑戦。県芸術文化祭に出展し、一定の評価を受けた。軽微な作業を習慣化し、初めて工賃を支給することができた。</p>	<p>・工賃につながる軽微な作業の開拓 ・オリエジナル商品の開発</p>
(2) 就労移行支援事業	<p>・求められる知識や技能の取得及び向上に必要な訓練を行うと同時に求職活動を支援する。また法人内施設と連携し、企業訪問や見学を行い就労意欲の向上に努める。</p>	<p>・一般就労した2名は、対人関係や環境の変化に体調のコントロールができず、結果として退社せざるを得なかった。</p>	<p>・就労によって生じた課題の解決に向けた関係機関と連絡調整</p>
(3) 就労継続支援B型事業	<p>・利用者の潜在能力を引き出した自立した日常生活が提供し、地域において自立した日常生活ができるよう努める。</p>	<p>・菓子の外販を定期化したことにより、就労支援事業収入が伸びた。また販売を通して接客方法を学ぶことができた。</p>	<p>・地産地消を推進するたため町のさまざまな特産品を活用した商品の開発</p>
(4) 相談支援事業	<p>・利用者として家族のニーズを的確に把握し、身近な保健、医療、福祉サービスを活用し、総合的なサービスの提供に努める。またこれまで解決できなかったことや支援に至るまでに時間を要したことは、地域の課題としてとらえ、阿賀町自立支援協議会や新潟圏域地域生活支援センターなどと協議を重ね、個人の尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する。</p>	<p>・家族の高齢化や入院によって遠方にいる親族との相談や協議が増え、緊急時の対応に時間を要したケースがあった。 ・平成30年3月末現在の相談契約人数は84人（者：79人、児：5人）でサービス等利用計画の作成とモニタリングを実施した。</p>	
(5) 地域活動支援センター事業	<p>・阿賀町の委託事業として働くことが困難な障害者が集う場所として、創作または生産活動を提供するとともに仲間づくりのための支援に努める。</p>	<p>・社会的そして経済的自立が可能となるさまざまな活動を準備しているが公共交通手段が乏しく参加者が少ない。</p>	<p>・行政を初めとした関係機関との連携</p>
○地域交流	<p>・障害基本法がめざす「地域社会における共生」をさらに推進するため、事業所の機能を最大限に活用し、障害者を支える関係者や組織と協働し、地域の皆さんに行事などを通して障害者と触れ合う場を提供することで障害者に対する理解を深めるとともに心のバリアフリーを進める。</p>	<p>・阿賀町唯一の障害者を支援する専門施設として、障害者はもとより広く町民に開放しているが認知度が低い。町の観光大使を務める県防犯アドバイザーを招致し、施設のピーアールと交流に努めた。</p>	

施設名		高 齢 福 祉 事 業 部		課 題 等	
菅名の里・ま おろしの郷		計 画		報 告	
○重点項目					
(1) 特別養護老人ホーム事業					
<p>・利用者・家族ニーズの高い多床室のなかで、終の棲家として入居者個別の暮らしを提供できるよう、ひとり一人の意志や希望を尊重する「居心地の良いサービス」をグループケア、担当制を活用しながら提供する。介護の基本に立ち返り、個々の援助方法、生活環境の見直しを図るなかで、安心安全が得られる介護サービスの提供に努め、介護事故ゼロを目指す。</p>		<p>・アクシデントに対処する検証を徹底したこととで行政報告を伴う介護事故は激減した。また、菅名の里で前年発生したインフルエンザの集団感染については早期対応により入居者の感染は見られなかった。両施設とも居室担当職員が受け持ちの担当利用者の個別ケアへの意識を持つことで、余暇活動や外出など臨機応変に個別ニーズに対応できた。</p>		<p>・事故防止、感染症対策の徹底 ・重度ケア、看取りケアの対応の推進 ・老朽化した生活環境に対処する対応</p>	
(2) (介護予防) 短期入所、障害短期入所事業					
<p>・利用者が住み慣れた地域や自宅で生きがいを持って自立した日常生活ができるよう、個別の介護計画に基づいたサービス提供に努める。障害短期入所においては、利用者一人ひとりの個別支援留意事項を整備し、安全で質の高いサービス提供に努める。また、菅名の里とまおろしの郷の連携を強化し、新規利用者の開拓受入れを積極的に推進することとで経営基盤の安定に努める。</p>		<p>・近隣の事業所の事業縮小の影響を受けて、安定した稼働率を維持できた。緊急対応ケースや重度ケア利用者の受入れについても積極的かつ柔軟に対応できた。</p>		<p>・介護事故防止 ・サテライト施設との連携強化</p>	
(3) (介護予防) 通所介護事業					
<p>・認知症や中重度の利用者を積極的に受け入れるとともに、利用者個々の生活状況、身体機能、自宅環境、希望等に合わせた個別機能訓練により、生きがいを持って自立した在宅生活が継続できるよう支援する。</p>		<p>・年間通して大きな事故もなく安定した稼働率が維持できた。重度利用者の受入れを目標としたが、利用者の傾向は軽度には偏った。</p>		<p>・在宅生活継続につながる活動への取り組み</p>	
(4) 在宅介護支援センター事業					
<p>・在宅高齢者もしくは要援助となるおそれのある高齢者とその家族からの相談に応じ、各種保健・福祉サービスが受けられるよう市の関係機関と連絡調整し、地域の高齢者福祉の向上を目指す。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援サービスの基盤整備に努める。</p>		<p>・市からの委託事業は概ね計画通り実施できた。法人内の在介の連携体制も十分に図られた。生活支援コーディネーターとしての初年度であったが「支え合い地域づくり活動」にも取り組み組めた。</p>			

施設名	計 画	報 告	課題等
菅名の里・まおろしの郷	<p>(5) 居宅介護支援事業</p> <p>・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。通所介護、短期入所との連携による、きめ細やかなサービス提供を行い、地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。</p>	<p>・如遇困難ケース等の対応にも積極的に取り組んだ。併設する通所介護、短期入所及び関係機関との連携や情報共有にもきめ細かく対応できた。</p>	<p>・関係医療機関との連携、情報共有</p>
	<p>○地域交流</p> <p>・地域行事・地域活動への積極的な参加と協力をを行う。馬下地区福祉のまちづくり運動推進委員及び、まおろしの郷運営推進委員との連携を図り、地域との結びつきを強化する。</p>	<p>・福祉のまちづくり運動推進会議、まおろしの郷運営推進会議を中心に防災協力体制や四季の行事等で積極的な交流を図ることができた。</p>	
五泉中央デイサービスセンター 五泉中央サポーターセンター	<p>○重点項目</p> <p>(1) (介護予防) 通所介護・(介護予防) 認知症対応型通所介護事業</p> <p>・通所介護計画や個別機能訓練計画に基づき、利用者個々の状況に応じた生活リハビリ、身体的リハビリ及び認知症予防を意識した脳活性化プログラム等をバランスよく働きかけ、機能維持・向上、在宅生活の継続を支援する。介護者支援として、介護者とのコミュニケーションを深め、有効な情報提供を行うとともに、介護者のニーズにあわせて長時間利用を引き続き推進することで介護者の介護負担軽減を図る。</p>	<p>・一人ひとりに合わせて、リハビリと認知症予防を意識した活動を通して、在宅生活継続のための支援を行った。</p> <p>・認知症予防では、家族、ケアマネ、職員全体で情報共有を密に行い個別活動の充実に努めた。</p>	<p>・老化した介護機器、送迎車の入れ替え</p>
	<p>(2) 在宅介護支援センター事業</p> <p>・住み慣れた地域の中で生きがいのある充実した生活が送られるよう、地域の高齢者に対して健康作りや介護予防に對して啓発活動を積極的に実施する。介護予防・認知症予防に関する各種教室を開催するとともに、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携強化を図り、「地域包括支援センター」のブラッシュアップ機能とともに地域の総合的な相談窓口として機能を図る。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援センターの基盤整備に努める。</p>	<p>・介護予防、認知症予防、運動機能向上に関する各種教室など啓発活動を行い、地域、行政とも連携し、自主活動グループの立ち上げも積極的に行った。</p> <p>・独居、高齢世帯などの実態把握を行い、在宅生活継続のための総合的な相談窓口として、サービス調整等を行った。</p>	

施設名	計 画	報 告	課題等
五泉中央デイサービスセンター・五泉中央サポーターセンター	<p>(3) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識とスキル、フロンティア能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型サービスを推進する。公平中立を確保し地域、関係機関、専門職とのネットワークによる地域がを推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築の中心的役割を果たす。障害者支援に必要な資格取得や研修を行い、居宅介護支援事業と障害相談支援事業との事業所の一本化に向けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難なケースにも積極的に対応し、関係機関と連携して在宅生活継続の支援を行った。 障害相談支援事業所いずみの里、あさひの家と事例検討を行い、情報共有と連携強化に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害相談支援事業との連携
	<p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地条件の良さを活かし、地域ボランティア(慰問)の積極的な受け入れ及び学校関係の就業体験等には施設機能を広く開放する。近隣の小学校や保育園との交流を行い、利用者の「残存能力」「生きがい」も引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアや保育園などの慰問、小・中・高校生の職場体験、介護実習生の受け入れを行った。利用者にも地域世代間交流により「生きがい」作りに繋がった。 	
うずらはし	<p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <p>・エントリを中心とした生活単位を基本に、季節の移り変わりを感じたり行事や食事の提供をする。そして潤いのあるゆったりとした日常生活の流れと家庭的な雰囲気大切に、入居者それぞれの個性や生活リズムに沿った生活が送れるよう支援する。そのため、職員のエントリ専任配置、入居者個別の日課、分業化しない介護を実現し、入居者のこれまでの暮らしの継続とその人らしさを保障する。「いつか必ず来るその時」までの悔いの残らない逝き方を本人や家族と一緒に考えて納得のいく「看取り」を実践し、身内を安心して託せる施設づくりを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6ユニットそれぞれの特徴を生かした環境整備、行事活動の外出も実施できた。 本館、新館ユニットの職員が交流し全体のケアの均一化を図り、園内研修への参加率を向上させる取り組みを行うことでケアの質が向上できた。 1年間で7名の入居者を施設で看取ることができた。その人らしい最期を迎える為に家族と意思を共有すること、に努め、多くの家族より感謝の言葉を頂いたことで職員の励みにもなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットごとの個別当制を活かした個別ケアの充実 新館、本館と連携体制の確立とケアの質の向上 日々のケアの延長線上にある看取りケアの充実 老朽化した設備への対応
	<p>(2) (介護予防) 通所介護・(介護予防) 認知症対応型通所介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 通所介護計画や個別機能訓練計画に沿った介護サービスを多職種が連携して提供し、脳活性化プログラムを有効的に活用した認知症ケアに積極的に取り組むことで、進行予防を図る。また利用者のこれまでの生活経験を生かした園芸や調理、地域の伝統行事などを活動に取り入れることで、意欲を持って自主的に取り組める「生きがい」を持ち、楽しみながら生活機能の向上(自信の回復)を図れるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 特養と連携し機能訓練スペースの環境整備を行った。 関係機関との連携、感染症対応、利用者の心身機能維持への取り組み等で、年間を通して安定した稼働率を維持することができた。 スクエアステップを取り入れた脳活性化プログラムの進捗、定着、「生きがい」に繋がる活動を実施し、認知症の進行予防に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練の充実

施設名	計画	報告	課題等
うずらはし	<p>(3) 在宅介護支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域の中で生きがいのある充実した生活が送られるよう、健康作りや介護予防に対して啓発活動を行うとともに、転倒予防、認知症予防等の各種教室を開催する。さらに、市の関係機関や民生委員、居宅介護支援事業所と連絡調整し、各種保健・福祉サービスが受けられるよう支援することと、地域の高齢者福祉の向上を目指す。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援サービスの基盤整備に努める。 	<p>・各種予防教室やお茶の間サロンへ出向いての啓発活動を実施し、地域住民の介護予防に対する意欲の促進を図った。</p> <p>・関係機関と連携し、生活支援コーディネーターとして研修等を重ね、ささえあえる地域づくりへ取り組んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターとして地域の生活支援サービスの体制整備
島の郷	<p>(4) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。公平中立を確保し地域、関係機関、専門職とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。 <p>○地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事・地域活動への積極的な参加と協力を行うとともに、認知症対応型通所介護に係る運営推進会議を設け、地域との結びつきと連携、運営の透明性を強化する。また、引き続き慰問やボランティアの受入れ、新規開拓と育成を図り、地域に開かれた施設運営に努める。 <p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの特徴を最大限活かし、職員の専任配置、基本介護のユニット内完結などで家庭的で温かみのある介護サービスを提供する。個別介護計画及び24時間シーティングサービス、多職種協働で入居者の「自立」と「自律」を支援する。立地条件を活かし、入居者の生活が閉鎖的にならないよう、季節行事、地域行事等に積極的に参加し地域交流を図る。嘱託医師、看護職員及びケアワーカーなどが協働して、入居者及び家族の意向を確認し同意を得ながら看取り介護に取り組む。その人らしい「尊厳ある死」が迎えられるよう総合的に支援する。 	<p>・支援困難なケースでも関係機関との連携を図り、積極的な受け入れを行うことで地域の高齢者の在宅生活の継続を支援した。</p> <p>・併設する認知症対応型通所介護、特養空床ショート利用において情報共有が密に図れた。</p> <p>・認知症対応型通所介護において運営推進会議を年2回開催、またその役員と協力して夜間に地域合同防災訓練を実施した。</p> <p>・障がいグループホーム開設を機により一層地元との連携を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットの特色を生かした支援、看取り介護の充実

施設名	計 画		報 告	課題等
帛の郷 地域交流	<p>・近隣小学校等との交流や地域行事へ積極的に参加、協力する。施設主催の「感謝祭」や「秋季祭礼交流」等で入居者に閉塞感を感じさせないよう努める。また、「憩いのホール」の地域開放や地域住民向けの「健康講座」の定期開催など地域貢献事業にも継続的に取り組む。防災体制の強化も兼ねて、地域消防団や地域住民の協力を得ながらの総合的な防災体制の構築を目指す。</p>		<p>・「秋季祭礼受入」や「感謝祭」で帛の郷へ多くの地域住民の方が来場され、入居者との交流を行った。また春地域住民向けの健康講座を開催し、憩いのホールも地域住民向けに活用を行った。</p> <p>・運営推進委員の方から避難訓練に参加してもらい、避難路のセンサーライト設置など参加者や消防のアドバイスをもとに避難時の見直しを行った。</p>	<p>・地域交流の継続、防災において、運営推進委員、地域消防団等との連携</p>

附 属 明 细 书

苦情・事故件数（県・市町村へ報告した事案）

施設名	苦情合計	事故の種別				事故合計	
		負傷等（骨折、打撲、裂傷等）	誤飲・誤薬	無断外出・徘徊等	その他		
障害福祉事業部	いずみの里	0	1	3	0	0	4
	陽だまり	0	0	7	0	0	7
	自立就労センターいずみ	0	0	1	0	0	1
	第二いずみの里	0	6	5	0	0	11
	満日の里	0	1	1	0	0	2
	なでしこ	0	0	1	0	0	1
	きなせ家	0	1	0	0	0	1
	さくらの里	0	0	0	0	0	0
	あさひの家	0	0	0	0	0	0
	虹工房	0	0	0	0	0	0
たんぼぼ	0	0	0	0	0	0	
高齢福祉事業部	菅名の里	0	3	3	0	0	6
	まおろしの郷	0	2	1	0	0	3
	五泉中央デイサービスセンター	0	0	0	0	0	0
	うずらはし	0	3	1	0	0	4
	帛の郷	0	1	1	0	0	2
合計	0	18	24	0	0	42 (51)	

※括弧内は平成28年度の合計数

事業所別年間利用者数・稼働率

	施設名	事業名	平成29年度 3月末 現在定員	年間 営業日	平成28年度		平成29年度		前年比 (利用者数) -	前年比 (稼働率) ÷
					利用者 数	稼働率	利用者 数	稼働率		
障 害 福 祉 事 業 部	いずみの里	施設入所支援	40	365	14,560	100	14,246	97	-314	97.8%
		生活介護	40	365	11,883	81	11,756	80	-127	98.9%
		短期入所(併設)	5	365	1,344	73	1,780	97	436	132.6%
	陽だまり	共同生活援助	45	365	15,872	97	16,037	98	165	101.0%
	自立就労セン ターいずみ	自立訓練(生活訓練)	10	241	2,308	96	1,702	71	-606	73.5%
		就労移行支援	6	241	1,533	106	1,164	80	-369	75.8%
		就労継続支援A型	6	241	855	59	1,182	82	327	138.3%
		就労継続支援B型	28	241	6,114	90	6,483	95	369	106.0%
	第二いずみの里	施設入所支援	50	365	16,851	92	18,097	99	1,246	107.6%
		生活介護	55	365	14,019	70	13,903	69	-116	98.6%
		短期入所(併設)	5	365	935	51	954	52	19	102.0%
	満日の里	施設入所支援	50	365	17,238	94	18,050	99	812	105.3%
		生活介護	60	365	15,406	70	15,303	70	-103	100.0%
		短期入所(併設)	10	365	1,552	85	1,610	66	58	77.6%
	なでしこ	共同生活援助	20	365	5,728	92	6,237	98	509	106.5%
	きなせ家	生活介護	15	305	5,009	109	4,646	101	-363	92.7%
		就労継続支援B型	22	241	5,275	99	5,424	102	149	103.0%
	さくらの里	生活介護	10	253	/	/	1,968	78	/	/
		就労継続支援B型	20	241	4,690	98	4,851	101	161	103.1%
	虹工房	就労移行支援	3	244	744	51	362	48	-382	94.1%
就労継続支援B型		17	244	3,551	105	3,734	88	183	83.6%	
たんぼぼ	生活介護	6	242	981	75	1,254	115	273	153.3%	
	就労移行支援	6	242	553	42	/	/	/	/	
	就労継続支援B型	20	242	4,456	75	4,943	103	487	137.3%	
菅名の里	介護老人福祉施設	80	365	28,568	97	28,902	99	334	102.1%	
	短期入所生活介護	20	365	7,078	96	6,839	94	-239	97.9%	
	通所介護	34	365	11,293	90	11,418	92	125	102.2%	
まおろしの郷	介護老人福祉施設	28	365	10,062	98	9,901	97	-161	99.0%	
	短期入所生活介護	14	365	4,937	96	4,855	95	-82	99.0%	
五泉中央デイサー ビスセンター	通所介護	45	365	15,677	95	15,309	93	-368	97.9%	
	認知症型通所介護	12	365	2,808	64	3,506	80	698	125.0%	
うずらはし	介護老人福祉施設	60	365	21,361	97	21,467	98	106	101.0%	
	通所介護	30	365	9,823	90	10,101	92	278	102.2%	
	認知症型通所介護	12	365	3,637	83	3,719	85	82	102.4%	
帛の郷	介護老人福祉施設	29	365	10,354	98	10,470	99	116	101.0%	

「満日の里短期入所(併設)」と「なでしこ(共同生活援助)」は平成30年2月に施設整備により定員変更を行っている。

職員数の推移

(4月1日現在在籍数)

所属		区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
法人本部		正規	4	4	4	4	4	
		嘱託・準	1	1	1	2	1	
		その他						
法人本部計			5	5	5	6	5	
障害福祉事業部	いずみの里(グループホーム・基幹出向含む)	正規	35	34	32	33	39	
		嘱託・準	19	17	15	15	11	
		その他	23	23	18	18	17	
	いずみの里計			77	74	65	66	67
	自立就労センターいずみ	正規	6	6	8	7	6	
		嘱託・準	9	10	9	10	12	
		その他	10	5	7	8	8	
	いずみ計			25	21	24	25	26
	第二いずみの里	正規	22	22	26	30	33	
		嘱託・準	15	13	11	7	6	
		その他	8	10	10	8	5	
	第二いずみの里計			45	45	47	45	44
	満日の里(グループホーム含む)	正規	35	35	39	38	42	
		嘱託・準	20	19	18	15	13	
		その他	24	23	24	24	25	
	満日の里計			79	77	81	77	80
	きなせ家	正規	6	8	7	9	8	
		嘱託・準	11	10	11	8	10	
		その他	5	4	4	3	2	
	きなせ家計			22	22	22	20	20
	さくらの里	正規	2	2	3	6	5	
		嘱託・準	3	3	2	7	6	
		その他	2	3	3	2	4	
	さくらの里計			7	8	8	15	15
	あさひの家	正規	8	9	8	7	7	
		嘱託・準						
		その他		1	1	1	1	
あさひの家計			8	10	9	8	8	
虹工房	正規	3	3	3	4	4		
	嘱託・準	4	3	3	3	4		
	その他	3	3	3	3	2		
虹工房計			10	9	9	10	10	
たんぼぼ	正規	6	7	5	6	6		
	嘱託・準	7	6	6	5	5		
	その他	4	4	6	8	11		
たんぼぼ計			17	17	17	19	22	
高齢福祉事業部	菅名の里	正規	50	46	52	50	55	
		嘱託・準	28	26	22	22	20	
		その他	22	21	25	24	28	
	菅名の里計			100	93	99	96	103
	まおろしの郷	正規	16	18	16	18	18	
		嘱託・準	9	8	7	7	4	
		その他	6	7	7	3	6	
	まおろしの郷計			31	33	30	28	28
	五泉中央デイサービスセンター	正規	20	23	20	21	19	
		嘱託・準	13	9	9	9	10	
		その他	11	11	11	13	13	
	五泉中央デイ計			44	43	40	43	42
	五泉中央サポートセンター(包括出向含む)	正規	16	13	12	12	11	
		嘱託・準				1		
		その他						
	五泉中央サポ計			16	13	12	13	11
	うずらはし	正規	52	52	46	47	52	
		嘱託・準	20	21	20	19	15	
		その他	4	8	8	5	5	
	うずらはし計			76	81	74	71	72
	帛の郷	正規	15	14	12	12	16	
		嘱託・準	6	8	12	12	8	
		その他	3	2	3	4	5	
	帛の郷計			24	24	27	28	29
	全体	正規	295	296	293	304	325	
		嘱託・準	165	154	146	142	125	
		その他	126	125	130	124	132	
全体計			586	575	569	570	582	

職員有資格者数（延べ人数）

平成30年3月31日現在

所属	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	社会福祉主事	保育士	喫煙吸引	
法人本部	0	0	0	1	3	0	0	
障害福祉事業部	いずみの里（グループホーム・基幹出向含む）	9	16	1	4	27	10	5
	自立就労センターいずみ	0	3	0	2	7	1	1
	第二いずみの里	8	13	2	4	15	8	7
	満日の里（グループホーム含む）	12	29	4	2	26	8	7
	きなせ家	1	5	1	0	6	4	1
	さくらの里	1	4	0	1	4	2	0
	あさひの家	5	1	1	1	2	1	0
	虹工房	1	1	1	0	3	1	0
	たんぼぼ	2	7	2	0	6	0	1
高齢福祉事業部	菅名の里	6	46	1	11	29	2	41
	まおろしの郷	0	13	0	4	6	1	17
	五泉中央デイサービスセンター	5	14	1	4	13	1	4
	五泉中央サポートセンター（包括出向含む）	3	7	3	12	6	1	3
	うずらはし	6	39	1	12	18	3	31
	帛の郷	2	14	1	4	7	0	14
合計	61 (60)	212(211)	19(19)	62(58)	178(169)	43(35)	132(132)	

括弧内は平成28年度の合計数

職員研修（外部・内部）参加者延べ人数

所属	合計		平成29年 4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		平成30年 1月		2月		3月			
	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部		
法人本部	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いずみの里（グループホーム含む）	68	126	1	0	1	0	10	60	11	0	10	0	3	15	7	28	12	0	4	23	2	0	0	0	0	0	7	
自立就労センターいずみ	33	91	2	0	1	0	4	19	4	0	4	0	3	19	1	9	5	13	1	12	2	0	0	3	19	3	0	
第二いずみの里	71	292	4	0	1	30	9	0	11	29	4	0	9	10	6	60	10	31	10	83	1	22	1	27	1	27	5	0
満日の里（グループホーム含む）	188	227	4	0	9	0	9	0	27	0	19	0	18	0	19	119	36	0	20	21	7	17	12	26	8	44	8	44
きなせ家	38	14	0	0	2	0	4	0	4	0	1	0	2	0	1	0	1	0	4	0	1	0	1	0	0	0	18	14
さくらの里	28	39	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2	0	2	0	9	0	4	14	0	14	0	0	4	11
あさひの家	42	84	2	0	2	4	2	9	3	12	2	7	8	0	3	14	8	20	8	5	0	4	1	4	1	4	3	5
虹工房	19	61	2	0	1	0	1	14	0	0	1	16	0	0	5	8	3	8	2	8	0	7	0	0	0	0	4	0
たんぼぼ	34	47	0	0	3	0	5	0	5	0	2	18	3	0	1	28	8	1	2	0	2	0	2	0	2	0	1	0
菅名の里	97	468	1	22	11	20	3	43	8	46	1	0	19	26	15	45	22	115	7	64	0	17	1	37	1	37	9	33
まおろしの郷	39	262	0	0	2	1	6	61	6	27	2	0	6	28	7	40	1	66	3	0	2	0	2	0	2	39	2	0
五泉中央デイサービスセンター	45	316	0	20	2	9	6	26	13	16	3	0	6	30	4	55	5	69	2	13	0	26	1	36	1	36	3	16
五泉中央サポートセンター	76		3		4		6		12		0		8		16		13		5		0		2		2		7	
うずらはし	94	430	6	3	4	72	11	35	16	29	7	19	11	67	11	2	11	66	7	1	4	31	1	40	1	40	5	65
帛の郷	49	173	0	0	1	12	8	13	6	11	9	0	7	0	5	14	2	46	3	32	4	9	3	17	1	17	1	19
合計	928	2,630	27	45	45	148	86	280	128	170	68	60	104	195	103	422	149	435	84	276	25	147	29	245	29	245	80	207